

2015年(平成27年)5月5日 No.667

第1四半期決算概要

経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の経済政策、日銀の金融政策の効果もあり、企業収益や雇用情勢の改善が進むなど穏やかな回復基調にありました。しかしながら、消費税率の引き上げに伴う影響の長期化や、中国をはじめとする新興国の景気下振れ懸念など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、「日米中亜4極体制 新たなステージへ For the Next Stage」をテーマに、中期経営計画の各種施策に取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,999百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益は562百万円(同37.7%増)、経常利益は644百万円(同38.3%増)、四半期純利益は380百万円(同59.9%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

- 【産業機械】売上高は10,221百万円(前年同期比6.8%増) 営業利益は679百万円(同22.2%増)
 【建設機械】売上高は1,766百万円(前年同期比24.2%増) 営業利益は91百万円(同38.4%増)
 【その他】売上高は10百万円(前年同期比46.1%増) 営業利益は4百万円(同253.2%増)

平成27年11月期第1四半期の連結業績(平成26年12月1日～平成27年2月28日)

連結経営成績(累計)

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
27年11月期第1四半期	11,999 百万円	9.1%	562 百万円	37.7%	644 百万円	38.3%
26年11月期第1四半期	10,998 百万円	7.8%	408 百万円	△ 0.2%	466 百万円	△ 11.5%

	四半期純利益		1株当たり四半期純利益	
27年11月期第1四半期	380 百万円	59.9%	42 円	15 銭
26年11月期第1四半期	237 百万円	△ 7.0%	26 円	22 銭

(注) パーセント表示は、対前年同四半期増減率

今月のことば

乾 相談役

○ 改革と実行

常に改革は必要であるが、今こそ大胆かつスピーディに実行する時機である。改革には、会社全体に関わる大きな改革と日常業務での小さな改革、短期間で結果がでる改革、長期間でなければ結果がでない改革がある。目先のことばかりに囚われるのではなく、時間がかかろうとも大胆な改革に積極的に取り組まなければならない。改革するには資金や人材など経営資源を投入しなければならないことも多いのに、目先だけのことに囚われていては大きな改革はできない。

改革の実行に当たり、充分議論をして決定したことは、それを全員が実行しなければ、目標に向かって何事も進まない。政治は多数決で決定されるが、企業は例え少数意見であってもタイムリーに難しい判断であっても決断し、実行しなければならない。改革せずに放置しているのが最悪のやり方である。改革はスピードと実行力が命である。

○ 赤字は罪悪なり

H社の工場には、どこからでも見える場所に、「儲かる仕事は増やせ、儲からない仕事は減らせ、損する仕事は無くせ」と書いてある。極めて分かり易いスローガンである。企業が成長していくためには、これから成長する分野の仕事を増やし、長期に亘ってやっちはいるけれど、儲かってもない仕事は減らし、ましてや赤字が続いている仕事は撤退すべしと読み取れる。松下幸之助翁はかつて「赤字は罪悪である」とまで言及されている。会社を存続させる為には、赤字を続けていては絶対に

駄目である。赤字が続くことは、社会に貢献することもできず、存在価値が無いことである。やり方が悪いのか、マーケットが良くないのかをよく検討して、赤字部門は思い切った改革をするか、出来なければ撤退する決断をしなければならない。

会社を将来に亘って継続して成長させていく為には、その源泉となる利益の確保が無くては達成できない。常にいかにして利益を出すかを、社員の一人ひとりが考えながら仕事に取り組まなければ会社は衰退する。

いろいろと難しいことを述べるよりも、簡単なフレーズで会社の方針を組織に浸透させることは、会社発展のために必要である。形式ばかりに囚われず、On The Job Trainingで実力アップする体制が重要である。コスト意識を向上させ躍進しよう。

○ 当事者意識を持って

自分が当事者であるとの意識を持って献策したり決断したり実行せよ。他人事のように、「どうされますか」とお伺いばかりでは、肩書が泣く。「誰々はこう言っている」「よそはこうやっている」などの発言は当事者意識の無い人の発言である。自分の任務の中には、果たさなければならない責任と役目がある。いてもいなくても、あまり業務に支障が感じられない人は、必要とされていない人である。それぞれの人が業務を担当するのは、当事者意識を持った責任ある判断・決裁をするためである。上司にとって最も望ましいのは、信頼・安心できる仕事をしてくれる人である。それぞれの人が当事者意識を持って責任を全うしよう。

マルカの動き

4月

動き

- 4月 1日：入社式
：勤続20年表彰
- 4月 3日：四半期決算発表
- 4月 17日：中国全体会議

辞令

[新職のみ表示]

- 有吉 俊雄 国際営業部担当次長
河村 浩和 大阪産業機械第二部次長
吉田 雅樹 東京産業機械部次長
熊谷 了輔 東京産業機械部次長
和栗 潤 大阪建設機械部次長
丸山 真史 大阪産業機械第一部課長
佐野 力哉 静岡営業所長
石井 耕一 東京建設機械部課長
小野田 剛大 マルカ・メキシコ
営業部部長
小関 徹 東北支店長

(4月1日付)

表彰

◆殊勲賞

- 名古屋産業機械第二部担当部長 中島 泰久
大阪産業機械第一部課長 丸山 真史

新入社

- 野田 亮太 名古屋産業機械第一部第一課
谷口 明日香 国際営業部第二課

(4月1日付)

健康保険料率・介護保険料率が改定されます

変更後の料率は平成27年4月分(5月納付分)から適用されます。

個人の保険料率は下記のとおりです。

健康保険料率 5.03% → 5.02%

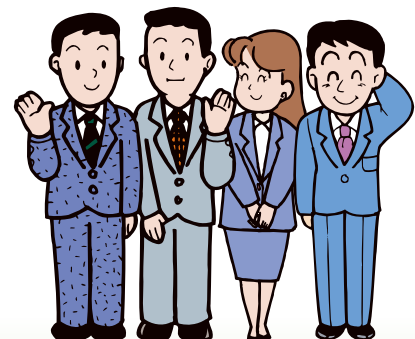
介護保険料率 0.86% → 0.79%

5月の給与より変更して天引き致します。

2015年新入社員配属決定(仮配属)

- 木村 健吾 大阪産業機械第二部
坪内 明広 総務部人事課
土井 翔介 国際営業部第二課
仲宗根 大樹 機材部
西垣 祐作 大阪産業機械第二部
長谷場 好輝 名古屋産業機械第二部
松崎 友樹 東京産業機械部
三吉 優太 大阪建設機械部
井ノ上 絢可 国際営業部海外業務課
山崎 藍 名古屋産業機械第一部業務
當山 亮 ソノルカエンジニアリング(株)
検査・品質保証部 調整・検査課
野口 隼 ソノルカエンジニアリング(株)
検査・品質保証部 調整・検査課

(4月10日付)





アジア NOW 2015年 5月

		タイ	インドネシア	マレーシア	フィリピン	台湾	上海	備考
GDP成長率 (%)	2014年	2.0%	5.1%	4.6%	6.4%	3.4%	7.4%	推定値
	2015年	4.5%	5.2%	6.2%	6.7%	3.5%	6.5%	予測値
物価上昇率 (%)	2014年	2.1%	6.0%	3.5%	4.8%	1.4%	1.1%	推定値
	2015年	2.4%	5.0%	3.5%	4.9%	0.9%	2.4%	予測値
為替相場 (対米ドル)	15/2/10	B32.73	Rp12,785	M\$3.36	P44.31	NT\$31.48	RMB6.250	1\$=118.49円
	15/3/10	B32.57	Rp13,059	M\$3.60	P44.27	NT\$31.70	RMB6.157	1\$=121.47円
	15/4/10	B32.54	Rp12,615	M\$3.60	P44.46	NT\$30.93	RMB6.157	1\$=120.51円
	今後の傾向	→	→	→	→	→	↗	
短期金利		1.75%	7.50%	6.25%	4.00%	4.13%	5.35%	
	今後の傾向	→	↘	→	→	→	→	
失業率		0.82%	6.10%	3.10%	7.00%	3.69%	4.50%	

マルカ駐在員からのコメント

タイ工業省産業経済事務局が3月30日発表した2月の工業生産指数(MPI)は171.91となり、前年同月から3.6%上昇した。前年同月比プラスは23ヵ月ぶり。ソムサク副局長は、自動車や食品宝飾品(金を除く)、テレビ、IC(集積回路)などの増産が要因だと指摘した。特に自動車の生産台数は前年同月比2.8%増の17万8,351台となった。国内販売は不振が続いているものの、輸出は順調に拡大している。産業経済事務局は2015年のタイ国内の自動車生産台数について、前年比13.3%増の213万台になると予想している。

インドネシアの第1四半期(1~3月)の二輪車販売台数は、前年同月比19%減の161万台だった。年初からガソリンの補助金が撤廃されて変動価格制となり、燃料値上げが相次ぎ消費者に不安が広がった。月間で60万台割れが続くが、年央にかけて回復が期待される。二輪車製造業者協会(AISI)の関係者は「5~6月には月間の販売台数が60万台以上に回復する」と予想。収穫期を迎えれば食料価格の上昇も一服し、バイクの購入に踏み切る消費者が増えるとみている。通年では昨年の販売台数である787万台と同水準になる見込み。

マレーシア自動車協会(MAA)の発表によると、会員企業による2015年3月の自動車販売台数は6万7,314台となり、前年同月比で14.2%の増加となった。生産台数は6万85台となり、前年同月比で19.3%の大幅増となった。前月比でも33.6%増だった。3月の販売は乗用車が前年同月比13.8%増、商用車は同17.6%増となった。MAAは3月の販売台数が前年同期比で増加したことについて、物品・サービス税(GST)直前の在庫処理のための自動車販売会社による積極的な販売強化キャンペーンが影響したと指摘した。

フィリピン統計庁が発表した2月の輸出額は前年同月比3.1%減の45億1,267万米ドルだった。電子部品はプラス成長だったものの、上位品目である家具・木工品や金属部品などが前年同月を割り込んだことに加え、農作物なども低調だったことが響き、3ヵ月連続のマイナス成長となった。国・地域別の輸出額では日本が20.2%減の9億4,229万米ドルとなったものの、首位を維持した。2位は米国で16.7%増の7億3,097万米ドル、3位は中国で34.8%減の4億4,536万米ドルだった。

馬英九総統は3月18日から21日に開催される「台北国際自転車見本市(TAIPEI CYCLE)の開幕式に出席、台湾本島一周、全長1,000メートルあまりの自転車道も年内に完成する予定だと明らかにした。この自転車道は「愛台湾12建設(台湾を愛する12大建設)」の一つ。12億台湾元を投じて、自転車道470キロメートルを新たに建設し、各県・市の既存の道路と連結して台湾本島一周、1,005キロメートルの自転車道として整備する予定だ。

中国経済鈍化のしわ寄せが労働集約型工場で顕著となっている。日系電機部品工場によると、同社取引先の工場企業の多くが今年春節の稼働停止期間を例年の2週間前後から3、4週間に延ばしている。受注量が減少しているために稼働日を減らす必要が出てきている事が背景にあるようだ。工場の稼働日数や求人減少を裏付けるように、足元の景況感は悪化している。2月の製造業購買担当者指数(PMI)は前月から3.1ポイント下落の47だった。景気判断の分岐点となる50を割り込むのは昨年2月以来12ヵ月ぶり。

中国全体会議2015



本社より二橋常務にご出席頂き、中国4拠点及び台湾の計5拠点総勢15名が上海に集結し、マルカ中国全体会議を開催いたしました。

今回は午前と午後の2部構成とし「海外比率65%を達成するにあたりマルカ中国としてどうあるべきか?」「次に向けて何をするか?」というポイントについて具体的な戦略、事例に基づき活発な意見交換がなされました。又、今回より多くのナショ

ナルスタッフ(現地営業員)も参加し、中国人から見た今後のマルカ中国のあり方等、より具体的な議論を重ね、マルカ中国の横のつながり、連携感がより一層深まったと思います。

最後になりましたが、営業マンの基本であるPDCAを今まで以上に素早く回し、マルカ中国全体がワンステップ、ツーステップアップしていく事を確認しながら会議を終えました。

海外赴任 私の決意



マルカ・メキシコ
営業部

岡本 尚樹

この度、5月1日付の辞令にて、メキシコに駐在することとなりました。

2006年の4月に新社会人となり、一人暮らしをしたが故に名古屋配属希望を出し、希望通りの名古屋勤務になってから早9年が経ちました。

(その間、色々和私事もありますが…)

担当させて頂いたお客様、上司や先輩・後輩、そして家族と「人」という、繋がりにおいて非常に恵

まれた環境であったと実感しております。振り返ってみるといろんな方々から叱られ、時に褒められ、時に助けてもらい、育てて頂いたことに、感謝しきれない思いです。

海外駐在は初めてで、右も左もわからず、全てがゼロからのスタートという事で不安な気持ちもありますが、やるしかないという気持ちで挑んで行きたいと思えます。引継ぎをしている時、あるお客様から『負けて帰ってくるなよ、うちの担当だったんだから』という言葉をかけて頂きました。転勤先でも実績を残し、日本でいい意味で話題になることが、今まで育てて下さった方々への恩返しだと思います。新天地でも業種問わず人とのつながりを大事に、またすぐに戦力となり貢献できるように尽力してまいりますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

勤続20年を迎えて



機材部 次長

吉田 栄利

・20年間での一番の思い出

20年の間に様々な部署を経験しましたが、やはり8年間の中国駐在時の思い出が一番の思い出です。特に赴任当初いきなり肺炎にかかってしまい、その時に中国人の医者から漢方薬の材料だけ渡され、自分で煮込んで作れと言われた時の衝撃が今でも忘れられないです。

・70周年への抱負について

マルカキカイ全体での売上額700億円目標に対

して、機材部として大きく貢献ができるようにしたいです。そのために、常に新しいことにチャレンジをして、現状打破を念頭に突き進んでいきたいです。

・現状のご活躍とストレス解消法

中国から帰国し、機材部に配属になって2年が経過しました。毎日何かしら一喜一憂する事が起り、忙しく走り回っておりますが、毎日が勉強になっていきます。今は休日に一人娘と公園などで遊ぶことがストレス解消法です。

・若手社員へのメッセージ

失敗を恐れずに色々なことにチャレンジしましょう。誰でも失敗はしたくないものですが、何か失敗をした時に「二度と同じ失敗はしない」と心がければ知恵や工夫が生まれてくるものです。私自身も今後も失敗を恐れずに果敢にチャレンジし続けたいと思っています。



東京産業機械部 部長

渡辺 貴久

早いもので会社に入社してから20年経ちました。最初の10年は「営業に向いているのかな?」「自分はどのような営業がいいのだろうか?」と、今振り返ると自分目線で過ごした10年でした。

その後10年は営業としての自信が出てき、少し余裕が出てきました。自分の事だけでなく、部下の事、お客様の事を考えられるようになってきて「どうすればお客様に喜んで頂ける会社になるのだろうか?」というお客様目線で考えられるようになってきました。

しかしながら「実際本当に役に立っているのかな?」と考えると、ほとんど何も出来ていないのが実情です。

勤続20年を過ごしましたが、病気をせずに上手く行けば、あと約20年の期間が残されています。私の思いとしては、残り20年でお客様に更に喜んで頂ける会社になる礎を築きたいです。

時代は刻々と変化していますので、今後何が本当の顧客満足になるのか分かりません。それがアフターサービスなのか、部品の在庫なのか、それ以外なのか?を模索しながら頑張っていきたいです。

最後になりましたが、今こうして病気もせずに無事営業が出来ているのは家族の支えがあつての事なので、この場を借りて家族にお礼を言いたいです。ありがとうね。

。＊ お母さんありがとう ＊。

5月10日の「母の日」に女子社員の方々に、
お母さんに贈る感謝の言葉をお願いしました。

国際営業部 第二課

谷口 明日香

私は一人っ子で母親がとても大好きです。よく一緒に買物に行ったり、食事にも行きます。だんだん趣味も似てきて、今では洋服も共有するようになりました。苦しいときや、難しい決断をしないといけない時はいつも母の支えがありました。母は何事にも親身になって話を聞いてくれ

ます。マルカ入社を決意できたのも母の後押しがあったからです。新しい1歩を踏み出すことができ、とてもよかったです。そんな母ですがおちゃめな一面もあり、一緒に過ごす時間はとても心地よいです。家に帰り母がいるととても安心します。いつも私のことを支えてくれる母にとっても感謝しています。

今後は私も母を支えていきたいと思っています。そのための第一歩として、晩御飯とお弁当の準備を手伝っています。少しでも母の負担を軽減し、すべて私が作れるようになりたいと思っています。将来、母のような強くて優しく料理上手な女性になれるように自分磨きをしていきたいです。

国際営業部 海外業務課

井ノ上 絢可

私は、母とともに仲が良いです。今は、一人暮らしをしているため一緒に住んではいませんが、待ち合わせをしてよくご飯や買い物に二人で出かけます。仕事のことから、恋愛のことまで何でも相談できる友達みたいな自慢

の母です。学生のころは、何かと反抗して、母に沢山迷惑をかけた時期もありました。そんな時でも、私のことを一番に考えて、やりたい事を自由にさせてくれる母でした。

大学生の頃に一人暮らしを始め、自分で家事をするようになってからは、美味しいご飯が出てくることが、暖かいお風呂が待っているということが、当たり前ではないということに改めて気づかされ、日々、母の偉大さと有難みを実感しています。これからは、社会人として今まで苦勞をかけた分、少しずつ恩返ししていきたいと思っています。普段は照れくさくて伝えたことはありませんが、お母さんいつもありがとう。

名古屋産業機械第一部 業務

山崎 藍

私の母はどんな時も支えてくれて応援してくれます。好奇心旺盛だった幼い頃は、やりたい習い事をすべてやらせてくれて、毎日送り迎えをしてくれたことを覚えています。高校に入学して、1年間の海外留学がしたいと伝えた時

も、マイナスなことは一言も言わず、すぐ賛成して父の説得をしてくれました。留学して、初めて離れて暮らし、17歳にして母を想い、泣いたこともあります。英語が伝わらなくて辛い時もいつも励ましてくれ、帰国時に1年の結果が数字として表れたときは、「頑張ったね」と一緒に泣いて喜んでくれました。日々の生活で母の存在がこんなにも大きいのだと気付けた1年間でした。それからは母の大切さを感じて過ごす毎日です。これまでの経験で、今では、嬉しさ・喜び・愛情・感謝を全て言葉にして伝えるようにしています。今後は言葉だけでなく行動で、感謝の気持ちを伝えていきたいと思います。お母さん、いつもありがとう!

東京支社お花見開催

4月2日(木)夜、東京支社からほど近い坂本公園にて、花見を開催いたしました。

元々は前夜1日の予定でしたが、悪天候により急遽翌日に延期になりました。それが幸いし、当日は丁度花びらも散り始め、結果的に桜吹雪の宴を楽しむことが出来ました。

開始予定時間には少人数しか集まらず、心配する幹事の心とはよそに、時間がたつにつれ帰社した営業メンバーも徐々に集まり始め、多くの社員が参加いたしました。

普段は仕事の話ばかりですが、このときばかりは酔いにまかせてプライベートの話で大笑い、新しくなった社有携帯で散りゆく桜を撮影する等、大いに盛り上がりました。



桜春のまだまだ肌寒い中、呑兵衛さんへは「魔法瓶」持ち込みのお湯割り、寒がりやさんには「毛布」が重宝され、ふと気づくとマルカー行が一番最後まで残り、いつまでも余韻を楽しんだ一夜でした。

新入社員歓迎お花見!

4月4日(土)昼に本社の有志が集まって、お花見を行いました。前日の天気予報は雨の予報となっており、開催が危ぶまれましたが、蓋を開けてみると晴れのお天気となり、絶好のお花見日和となりました。竹下社長をはじめとして多くの部署からたくさんの方々にご参加いただき、新入社員を含めて総勢34名の大変盛況なお花見となりました。

乾杯の音頭では先輩社員が「お花見」をテーマにした川柳を一句披露するなど、趣向を凝らした挨拶で始まりました。最初は緊張した面持ちの新入社員でしたが、時間が経つとお酒の力も手伝い、先輩社員たちと打ち解けた様子で会話を楽しんでいました。話も盛り上がり、お酒も進んだ結果、当初用意していた分では足りなくなり、急遽買い出しにいくといったハプニングもありました。

新入社をお祝いするかのように最後まで天気も安定し、うらかな陽気の中で大いに話も盛り上がり、盛況のままお開きとなりました。

